

科目名	自治体経営と地域自立 A・B・C	
担当者	藤井浩司	
配当学期	夏期集中	
単位	A・B・C 各2単位	
授業概要	<p>地方自治体が抱える地域課題について、「現場」の視点に立って課題を発見し、課題解決のための政策や施策の立案に取り組み、実際の政策決定者（自治体首長）に政策を提言することを目的とする。現地調査による観察、情報データ収集・分析を踏まえたフィージビリティの高い政策の立案作業を通して、地方自治体が直面する問題を理解し、それをブレイクスルーする突破口を探ってもらいたい。</p> <p>今年度は、本研究科と緊密な交流、連携のある「岩手県奥州市」（小沢昌紀市長）の協力にもとづき、当市を現地調査・研究する。現地では、小沢市長による基調講義、幹部職員による講義のほか、施策担当者、商工業者、地域団体、住民、顧客などへのヒアリング、アンケートなどによる調査、各種統計資料の収集分析などを通して課題に接近する。最終的に成果報告を作成し、本庁舎会議室にて市長臨席の下で提言発表する。</p>	
授業の到達目標	政策形成に必要不可欠な能力である、問題発見力、民意対応力、問題解決力、発議力をインテンシヴに学習、習得することをねらいとしている。	
授業計画	<p>7月9日（土）4-5限 事前講義Ⅰ（ガイダンス／課題提示）</p> <p>7月23日（土）4-5限 事前講義Ⅱ（グループワーク）</p> <p>8月7日（日）～8月12日（金）※以下は仮案。詳細はガイダンスで提示。</p> <p>[第一日目] 午後 講義・オリエンテーション 夜間 グループワーク（課題研究）</p> <p>[第二日目] 午前 講義（市長・幹部職員など）／午後 フィールドワーク 夜間 スーパーヴィジョン・グループワーク</p> <p>[第三日目] 午前／午後 フィールドワーク 夜間 スーパーヴィジョン・グループワーク</p> <p>[第四日目] 午前 フィールドワーク／午後 中間報告 夜間 スーパーヴィジョン・グループワーク</p> <p>[第五日目] 午前／午後 フィールドワーク 夜間 スーパーヴィジョン・グループワーク</p> <p>[第六日目] 午前 グループワーク／午後 プレゼンテーション・市長講評</p>	
教科書	特になし	
参考文献	講義の中で適宜指示、あるいは必要な資料を配布する	
成績評価方法		評価基準
	試験 %	

	レポート %	
	平常点評価 70%	フィールドワーク・グループワーク・プレゼンテーション・質疑応答などへの参加貢献度などにより総合評価
	その他 30%	原則として事前講義・現地調査に全日程参加が成績評価の前提。特に、事前講義Ⅰ・Ⅱ両日とも欠席した場合、成績評価は0（ゼロ）。
関連 URL		
備考	<p>交通・移動、宿泊に要する費用は自弁とする。事前に概算額（経済的なモデルプランを含む）について情報提供する。</p> <p>「奥州市」に関する基礎情報・データは各自で収集し学習しておくこと。</p> <p>前提科目として「事例調査・評価方法」を履修しておくことが望ましい。</p> <p>本講義は、受け入れ機関のキャパシティの制約から、原則としてクラス定員を上限20名程度として設定し、上限を超える受講登録申請がある場合は抽選を実施する場合がある。</p>	